

「海外と関わらずにはいられない」社会

～グローバル人材の重要性と国際社会で求められる力～

SGH講演・ワークショップ③

AKB Future Project 推進委員会

- 実施日 平成 30 年 8 月 22 日（水）
13：30～15：20
- 生徒 4 回生
- 講師 日本貿易振興機構（JETRO）
地域統括センター長（北海道）白石 薫 氏
- 演題 日本・世界経済の現状
～グローバル人材の重要性と
国際社会で求められる力～



JETRO について

JETRO（ジェトロ）の正式名称は独立行政法人日本貿易振興機構（JAPAN EXTERNAL TRADE ORGANIZATION）です。外国企業の国内誘致、日本製品の輸出の促進、企業の海外進出の促進などが主な業務です。日本国内では 45 か所、海外では 54 の国に 74 の事務所があり、国内外合わせて 1,788 名の職員がいます。

世界経済の現状

現在注視すべき世界の動向の中で、今回特に強調された点は、加熱する貿易摩擦、世界経済をけん引するアジアの存在感の拡大、また世界に浸透するイノベーションとデジタル化です。現在の中国に対するアメリカの追加関税措置と中国による報復措置は、両国と関係を持つ全ての国の経済にマイナスの影響を及ぼす懸念があります。そのような中で、現在世界の GDP の 25% をアジアが占めています。さらに、ドライバー手配システムの Uber や、多彩な物を扱うシェアリングシステム、個人用携帯情報端末の決済に



よるキャッシュレス化の拡大により、経済活動のボーダーレス化がますます進んでいます。たとえ国内で自分の地域に留まるとしても、**海外と関わらずにはいられない社会**になっていることが強調されました。

グローバル社会で求められる資質や能力とは

後半は、生徒は 5～6 名のグループに分かれ、各自が将来選ぶ職業にはどのような海外とのかかわりがあり、どのような資質や能力が求められるかを話し合いました。各グループの意見が発表された後、白石さんはまとめとして 3 つのことに焦点を当てました。1 つ目は「**コミュニケーション能力**」、すなわち相手に分かるまで伝える力です。2 つ目は「**異文化理解と日本人としてのアイデンティティ**」、つまり自分や相手の行動や主張の背景について知ること、3 つ目は主体的かつ柔軟に、解決策を見つけようとする「**チャレンジ精神**」です。

今回の講演では、聴衆の中にいた交換留学生のために、白石さんは時折流暢な英語で内容を要約しながら進めました。生徒たちはその様子からも、実社会で求められる実践的なコミュニケーション能力とはどのようなものを垣間見ることができました。

【生徒の感想より】

- ・グローバルな人材というのは、特殊な限られた人にしかないと考えていたが、身近な職業にも海外との関わりがあり、身近な場所でも世界の人の役に立てるということが分かった。
- ・「コミュニケーション力とは言葉の中の『意図』を読み取ること」という白石さんの話が、新鮮な驚きだった。
- ・今でこそ人前で話すことにも慣れてきたが、1 回生からの色々な取り組みを通してコミュニケーション能力が身についてきたことに気付いた。このような活動にちゃんと意味があったことを実感した。